

ずっと続く 物流の未来。 わたし達に できること。

2024年問題は、玄関先に荷物が届かなくなる
「宅配便」だけの問題だと捉えていませんか？

みなさんが購入する商品が完成するまでには、
原材料や部品を工場に運んだり、
完成品をお店に運んだりといった企業間の輸送が数多くあります。
あらゆる物の生産活動を支えているのがトラック事業者であり、
輸送が滞れば、商品を作ることもままならないのです。

しかし、このまま何も対策を講じなければ、岩手県では
2030年には約40%の荷物が運べなくなるとの試算もあります。

部品が届かず、車の修理ができなかったら？
手術に必要な道具は？薬は？
マイホームがいつまで経っても完成しなかったら？
新鮮な食品が食べられない？

どうなる？ どうする？

物流の2024年問題
特設サイトはこちらから



第1回特集記事も掲載中



現代はすぐに荷物が
届くなんて、本当かい？

いつの時代も
人が運んでいることを
忘れちゃいけないね



一般消費者

働きやすくなるのに
素直に喜べないって？

仕事に見合った報酬を
ちゃんと自分たちで
荷主に提示しないとね



トラック事業者

これから荷物が運べないって
断られることもあるって？

運賃値上げなどの
交渉には
応じていくべきだよ

だって
運んでもらわないと
仕事にならないもの



荷主

全産業平均より「労働時間が2割長く、賃金が2割低い」と言われている運送業界。
ドライバーの賃金水準向上に向けた運賃が確保できなければ、
他産業に「人財」が流出し、物流は崩壊してしまいます。

みんなで考える物流の未来。



公益社団法人

岩手県トラック協会

紫波郡矢巾町流通センター南2丁目9番1号 TEL 019-637-2171
<https://iwatokyo.or.jp/> または、検索 岩手県トラック協会